

もくろく

第十五

めいしん(迷信)をさ
けよ

二十五
頁

第十六

れいぎ
人のめいよを重ん
ぜよ

二十九
二十八
二十八
二十九

第十七

はくあい
こーえき(公益)
三十三

三十
三十一
三十一

第十八

へいえき
のーぜい
三十六

三十一
三十一
三十一

第十九

きよーいく
ぎいんせんきよ
三十八

三十一
三十一
三十一

第二十

ほーれいを重んせ
よ
人は萬物の長
四十二

四十
四十一
四十一

第二十一

男のつとめと女の
つとめ

四十三
四十四
四十四

第二十二

よい日本人

四十五
四十五
四十五

第二十三

さめよ』と、おほせられました。

第一

ニニギノミコトのごしそんの神武天皇は、わ

るものどもをごせいばつになつて、天皇のおくらぬにおつきになりました。これが、わが大日本帝國のはじめであります。